

NIFAアクションプラン2018→2022	全体 頁中の 頁
1. 現状の概要と今後の方向性	広報委員会

新潟県内はもとより、全国、世界のサッカーファミリーに対し、新潟県内のサッカーに関するあらゆる情報を、できるだけ広く、活速やかに発信することで、その情報を有効活用してもらい、新潟県内のサッカーの普及と強化、並びにサッカーファミリーがよりサッカーに親しむ環境の整備に役立てていくことを目的に活動している。

年4回（1・6・9・11月）発行の「N i F A N E W S」は紙媒体の特質を生かし、県内のあらゆるサッカーの活動・事業に焦点を当てながら、サッカーファミリーができるだけ新鮮な情報を共有しうるコミュニティとなることを目指している。

また、新潟県サッカー協会の「ウェブサイト」の運営管理においては、各種別において各種大会・試合の速報サイトをかんりすることと、ウェブ上で大会のエントリーや試合情報の共有など大会運営をスムーズに行えるようにしている。

今後の方向性としては、各種別において「ウェブサイト」の利用頻度を高めるための更新や改良に取り組むことと、「N i F A N E W S」において県内のすべてのサッカーファミリーを網羅できるような情報発信を、洗練させつつ継続していくことである。

これまでの中期目標であった2018年目標の対しての達成度や現状、今後の長中期目標に対しての現状の概要、今後の大まかな方向性などについて書いて下さい

NIFAアクションプラン2018→2022	全体 頁中の 頁
2. 中期目標（2030年）	広報委員会

情報社会の中で、紙媒体のあり方を模索しつつ、継続して「N i F A N E W S」を発行している。

「ウェブサイト」において、サッカーファミリーとこれからサッカーファミリーになろうとしている人たちに向けた双方のコミュニケーションをより強化していくような情報発信を目指す。サッカーファミリーに対して、大会エントリーや大会中の情報共有などをよりスムーズにし、各種大会が「ウェブサイト」を利用することでより運営しやすくなるようにする。

また、各種別から「ウェブサイト」の活用頻度を高めてもらい、種別ごとの情報発信がスムーズかつ頻繁に行われるよう整備していく。現在好評の大会結果速報についても、全種別全試合が網羅できる体制を構築し、完成させる。

NIFAアクションプラン2018→2022	全体 頁中の 頁
3. 長期目標（2050年）	広報委員会

「N i F A N E W S」のあり方を模索しつつ、ニーズに応じた形で発行している。

県内外のサッカーファミリーとこれからサッカーファミリーになろうとしている人たちに対し、進化発展しているI C T技術を駆使し、より【速く・多くの・正確な】サッカーに関する情報発信を行う。

さらにサッカーファミリー、一般の人の声を広く聞き、協会がどうあるべきかを認識し支援してもらうための施策を、広報を通じて受信・発信し機能強化を図る。

NIFAアクションプラン2018→2022					全体　頁中の　頁
4. 現状分析					広報委員会
No. と 事項	2022年具体的目標	2018年における現状	達成度	目標達成へ向けての課題	改善の方策
1. NiFANEWS	紙媒体の特質を最大限活用したよりよい編集方法を常に模索し、「NiFANEWS」を発行する。	1 発行時期：年4回（1・6・9・11月） 2 発行部数：約800部 3 各種別の大会、イベントのレポート 各地区協会、委員会からのレポートや告知・PR	90%	<読者・閲覧者のニーズの把> 各種別・委員会・地区協会ごとに担当が情報を収集する。	<各方面からの意見の集約・反映> 各種別・委員会・地区協会内の広報担当職設置 上記担当職の意見を効率的に集約できるシステムの構築
2. ウェブサイト	1 アクセス数の増加 2 各種別・委員会・地区協会からの告知 各委員会から、専門分野に関する情報を随時掲載していく。 例：各地区グラウンド情報・医療機関紹介など 3 大会結果速報システムにおいて、リアルタイムですべての試合結果が入力され、情報提供が迅速に行われる。 4 その他ウェブサイトの有効活用 大会運営に必要なシステムを構築し、ウェブサイト上で各チームや役員が利用可能にする。 例：試合出場停止に関する情報や大会参加メンバー、大会要項やプログラムなどの管理・共有など	1 1日平均アクセス数 約1000件 2 諸事情による理由があると思われるが、有効活用できている組織とそうでない組織との格差がある。	80% 70%	<各種別・委員会・地区協会への協力のさらなる要請> <ウェブサイト管理会社との連携>	<各種別・委員会・地区協会内の広報担当職の設置> 上記担当職の意見を効率的に集約できるシステムの構築
		3 諸事情による理由があると思われるが、有効活用できている組織とそうでない組織との格差がある。 4 ウェブサイトが有する利便性を最大限有効活用できているとは言い難い状況である。	60%	<ウェブサイト管理会社との連携>	<容易で安全性の高い操作法確立>
事項番号と見出し	事項の中での具体的な目標 明確に、可能であれば数値で	2022年目標に向けての2018年での現状 達成度の%表記を右欄へ記入→	%表記	目標達成のために解決すべき課題	課題を解決、改善のための方策の概要

NIFAアクションプラン2018→2022					全体	頁中の頁
5. 具体的アクション						広報委員会
No.	誰が	いつ・いつまでに	どこで	何を	どのように	
1	広報委員会	隨時		各種別・委員会・地区協会の広報担当者	各母体から選出してもらう	
2	広報委員会と ウェブサイト 管理会社	隨時		各種別・委員会・地区協会の広報担当者が書き込むことのできるウェブサイト上のスペース 読者・閲覧者のニーズ 大会結果速報システムを含む、ウェブサイトの有効活用法	構築し、ウェブサイトに導入する。 各種別・委員会・地区協会の広報担当者や読者・閲覧者から寄せられた意見などを集約し、紙面に反映させる。 各種別・委員会・地区協会の広報担当者からの意見を集約し、ウェブサイト管理会社と連携しながら活用・利用しやすいウェブサイトの運用法を構築する。	